



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 メディキット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7749 URL <http://www.medikit.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 洋二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理部門担当 (氏名) 中島 崇 TEL 03-3839-8870  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,628	1.4	1,078	△12.3	1,107	△12.5	405	△28.1
2024年3月期第1四半期	5,549	4.8	1,230	13.8	1,264	14.7	564	5.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 502百万円 (△15.8%) 2024年3月期第1四半期 596百万円 (△2.6%)

(参考) のれん償却前営業利益 2025年3月期第1四半期 1,133百万円 (△10.9%) 2024年3月期第1四半期 1,271百万円 (17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	27.40	—
2024年3月期第1四半期	33.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	51,308	43,754	85.3
2024年3月期	50,999	44,128	86.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 43,754百万円 2024年3月期 44,128百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,365	4.8	2,402	5.5	2,442	1.7	1,392	5.4	94.09
通期	22,385	2.4	4,162	△11.0	4,226	△11.6	2,745	△10.6	185.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) のれん償却前営業利益 第2四半期（累計） 2,510百万円 (4.7%) 通期 4,397百万円 (△10.4%)

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) Medikit Europe GmbH、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	17,880,000株	2024年3月期	17,880,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,084,493株	2024年3月期	3,084,493株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	14,795,507株	2024年3月期1Q	16,786,880株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化や雇用・所得環境改善、インバウンド需要の増加などを背景に、内需を中心に景気は緩やかな回復基調となりました。一方、長期化するロシア・ウクライナ情勢や緊迫化する中東情勢、世界的な資源価格の高騰、更なる円安の進行など、先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する医療関連業界におきましては、医療現場においては手術件数や検査件数がコロナ禍前の水準に回復する動きが見られる一方、物資の高騰や医療従事者の慢性的な人手不足等の影響により、医療関連業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループはそれまでの中期経営計画（2021年12月公表。「当初中計」）の見直しを行い、「中期経営計画“NEXT 300 Neo”」を策定致しました。これは、当初中計の策定時より2年以上が経過したことによる内外の環境変化等を勘案し、改めて今後の経営戦略を見直した上で、当社グループとして着実に成長を遂げるべく取りまとめたものです。

国内においては、人工透析類では針刺し防止機構付き止血弁内蔵透析用留置針「ハッピーキャスProFlex」、静脈留置針類では針刺し防止機構付き留置針「スーパーキャス5」並びに「スーパーキャス7」等の販売・普及に努めるとともに、インターベンション類では、スーパーシース「スーパーシースCoat Plus」、不整脈治療用のブレイデッドシース「AbRoad STOUT」及びスティラブルシース「AbRoad FLEX」の販売拡大に努めました。また、2022年12月に買収した株式会社Bolt Medicalは、引き続き脳血管治療領域における製品の上市に向けた取り組みを進めており、2024年6月には国内製造販売承認を取得しました。海外においては、国内で高い評価をいただいております透析針、静脈留置針、シースイントロデューサー等の積極的なプロモーションを行って参りました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,628百万円（前年同四半期比1.4%増）、材料費及び減価償却費の増加等により、営業利益1,078百万円（同12.3%減）、経常利益1,107百万円（同12.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益405百万円（同28.1%減）となりました。

当社の商品区分である品目別の売上高は以下のとおりであります。

人工透析類におきましては、1,963百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。静脈留置針類におきましては、1,778百万円（同14.2%増）となりました。インターベンション類におきましては、1,882百万円（同5.6%減）となりました。

また、当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、欧州で販売を担う100%子会社であるMedikit Europe GmbHを連結の範囲に含めております。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前連結会計年度末に比べ、308百万円増（0.6%増）の51,308百万円となりました。

流動資産は同645百万円減（1.9%減）の33,845百万円、固定資産は同954百万円増（5.8%増）の17,462百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が997百万円減少したこと等によるものです。

固定資産のうち有形固定資産は、主に建物及び構築物が増加したこと等により同1,132百万円増（9.9%増）の12,606百万円となりました。

無形固定資産は、同54百万円減（1.6%減）の3,421百万円となりました。

投資その他の資産は、同123百万円減（7.9%減）の1,434百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比683百万円増（9.9%増）の7,554百万円となりました。

流動負債は同671百万円増（11.7%増）の6,390百万円、固定負債は同11百万円増（1.0%増）の1,163百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比374百万円減（0.8%減）の43,754百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払い等により、利益剰余金が471百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は85.3%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日に公表いたしました2025年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,611,087	22,613,185
受取手形及び売掛金	5,288,526	5,145,348
金銭の信託	1,500,000	1,500,000
商品及び製品	1,349,553	1,591,125
仕掛品	1,496,639	1,514,201
原材料及び貯蔵品	1,031,177	1,176,366
その他	218,018	309,048
貸倒引当金	△3,845	△3,850
流動資産合計	34,491,157	33,845,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,452,593	4,760,381
機械装置及び運搬具（純額）	2,232,975	2,222,467
工具、器具及び備品（純額）	1,573,738	1,587,308
土地	2,398,017	2,397,962
建設仮勘定	1,816,838	1,638,601
有形固定資産合計	11,474,162	12,606,721
無形固定資産		
のれん	2,337,669	2,283,305
その他	1,138,210	1,138,342
無形固定資産合計	3,475,879	3,421,648
投資その他の資産		
投資有価証券	961,971	800,086
退職給付に係る資産	162,712	165,183
繰延税金資産	310,739	344,897
その他	123,597	125,139
貸倒引当金	△750	△750
投資その他の資産合計	1,558,270	1,434,557
固定資産合計	16,508,312	17,462,927
資産合計	50,999,470	51,308,352

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,180,483	3,365,682
未払法人税等	897,729	744,641
賞与引当金	412,052	211,321
その他	1,228,465	2,068,869
流動負債合計	5,718,730	6,390,515
固定負債		
資産除去債務	23,085	24,218
繰延税金負債	336,070	336,334
その他	793,045	803,239
固定負債合計	1,152,202	1,163,792
負債合計	6,870,932	7,554,307
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,250	1,241,250
資本剰余金	8,432,768	8,432,768
利益剰余金	39,826,236	39,355,155
自己株式	△6,046,116	△6,046,116
株主資本合計	43,454,139	42,983,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,334	213,217
為替換算調整勘定	309,737	434,524
退職給付に係る調整累計額	164,326	123,244
その他の包括利益累計額合計	674,398	770,986
純資産合計	44,128,537	43,754,044
負債純資産合計	50,999,470	51,308,352

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,549,918	5,628,286
売上原価	3,221,609	3,486,863
売上総利益	2,328,309	2,141,423
販売費及び一般管理費	1,097,644	1,062,637
営業利益	1,230,664	1,078,785
営業外収益		
受取利息	1,248	722
受取配当金	7,228	8,036
受取地代家賃	10,152	8,888
為替差益	10,585	—
売電収入	5,036	5,006
その他	6,062	12,817
営業外収益合計	40,313	35,472
営業外費用		
支払利息	1,888	1,893
減価償却費	989	339
為替差損	—	2,305
売電費用	2,709	2,443
その他	729	139
営業外費用合計	6,316	7,121
経常利益	1,264,660	1,107,136
特別利益		
固定資産売却益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
減損損失	55	55
固定資産除却損	595	23
特別損失合計	650	78
税金等調整前四半期純利益	1,264,028	1,107,058
法人税、住民税及び事業税	740,656	723,893
法人税等調整額	△40,939	△22,295
法人税等合計	699,716	701,597
四半期純利益	564,311	405,460
親会社株主に帰属する四半期純利益	564,311	405,460

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	564,311	405,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,377	12,883
為替換算調整勘定	16,222	124,786
退職給付に係る調整額	661	△41,081
その他の包括利益合計	32,261	96,587
四半期包括利益	596,573	502,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,573	502,048
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、持分法非適用非連結子会社でありましたMedikit Europe GmbHは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本およびその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することといたしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本またはその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	296,705千円	313,823千円
のれんの償却額	41,189	54,364

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。